

長野県JAバンクにおける

地域密着型金融の

取組状況について

(令和2年度)



令和3年10月



はじめに

■長野県JAバンク(長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会)では、 農業と地域社会に貢献するため、長野県2019-2021年度JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んで参りました。

■ 令和2年度の取組状況についてご報告いたします。





目次

1.	農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援・・・・・・・P.3
2.	担い手の経営ライフステージに応じた支援・・・・・・・P.13
3.	経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底・・・・・・P.20
4.	地域密着型金融の取組事例について・・・・・・・・・・・・・・・・P.23



■ 長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っています。



農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための取り組み

JA内部門間連携の強化



農業融資商品の適切な開発・提供①

- 長野県JAバンクは、JA独自の農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和3年3月末時点の農業関係資金(※1)残高は62,443百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金(※2)残高は10,184百万円です。
 - (※1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
 - (※2) 長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取り扱いを行っています。



農業融資商品の適切な開発・提供②

■ **営農類型別**農業資金残高

令和2年3月末現在(単位:百万円)				
農業	39,922			
榖作	3,616			
野菜•園芸	21,414			
果樹·樹園農業	3,592			
工芸作物	4			
養豚・肉牛・酪農	2,086			
養鶏·鶏卵	80			
養蚕	2			
その他農業 (※1)	9,126			
農業関連団体等 (※2)	22,521			
合計	62,443			

- (※1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられないもの、農業サービス業が含まれています。
- (※2)「農業関連団体等」には、JAや厚生連、全 農とその子会社等に対する貸出金が含ま れています。



農業融資商品の適切な開発・提供③

■ **資金種類別**農業資金残高

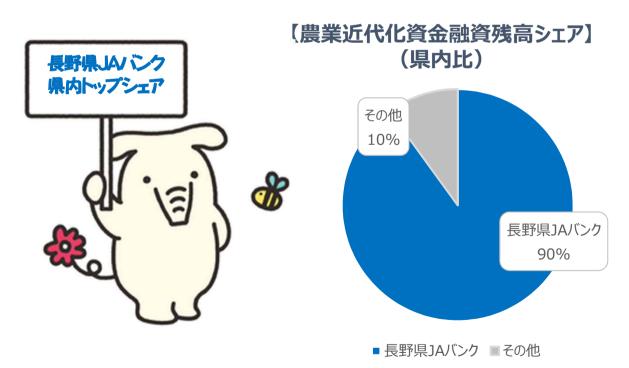
令和3年3月末現在(単位:百万円)				
プロパー資金(※1)	55,695			
農業制度資金(※2)	6,748			
農業近代化資金	5,046			
その他制度資金(※3)	1,703			
合計	62,443			

- (※1) 「プロパー資金」とは、JAバンク原資の 資金を融資しているもののうち、制度 資金以外のものを対象としています。
- (※2)「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を長野県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- (※3) 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。



農業融資商品の適切な開発・提供④

■ 長野県JAバンクは、農業近代化資金の取り扱いにおいて県内 トップシェアとなっています。



(令和2年12月末時点) 情報提供:長野県農政部



農業融資商品の適切な開発・提供⑤

■ 長野県JAバンクでは、農業者からのニーズに応える ため、各種農業資金をご用意しています。

■ 主力商品である「JAアグリマイティーローン」、「JA 農機ハウスローン」は、多くの農業者にご利用いただいています。

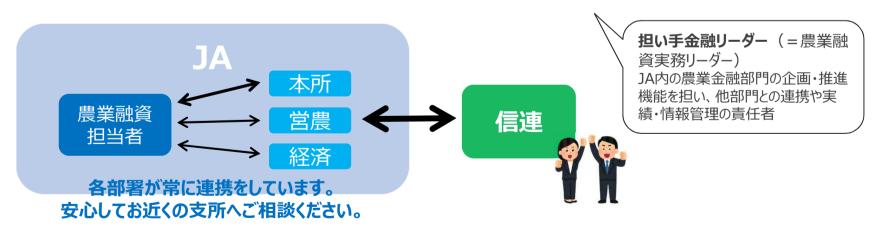
■ 引き続き、農業者のニーズの把握・商品の拡充に 取り組み、長野県の農業をバックアップしていきま す。





担い手のニーズに応えるための取り組み①

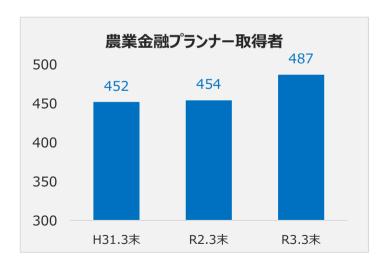
- 長野県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。
- JAでは、本・支所の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資 に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。
- これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである 「担い手金融リーダー |を14JA・41名(令和3年3月末時点)配置しています。





担い手のニーズに応えるための取り組み②

- 長野県JAバンクでは、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する 農業者の金融ニーズに応えていくため、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- 令和3年3月末時点において、JAバンク農業金融プランナー (※1) 取得者は488名、農業経営アドバイザー (※2) 合格者は162名が在籍しております。
 - (※1) 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。
 - (※2) 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成する ために日本政策金融公庫が平成17年に創設した人材育成制度です。



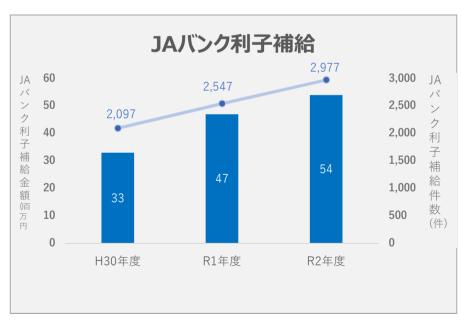




担い手のニーズに応えるための取り組み③

■ 長野県JAバンクでは、農業経営の安定化を図る目的で、農業資金借入者の 利子補給事業及び保証料助成事業を実施しております。

【JAバンク利子補給及び保証料助成の実績】





・ 長野県JAバンク 長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です

JA内部門間連携の強化

- 平成29年度より、信連職員が講師となり、JA向け「農業融資カスタム研修会」 (旧:農業融資パッケージ研修会)を開催しています。参加者は、金融部門職員にとどまらず営農・経済部門の職員を対象としており、研修会を通じて、連携強化を図っています。
- 令和2年度末現在で延べ3,631名が参加しています。

	農業融資カスタム研修会
内容	● 農業資金の全体概要● 農業経営改善資金計画書作成演習● 農業近代化資金の詳細説明等
対象者	JA職員(金融・営農・経済部門の幅広い職員が対象)
講師	長野県信連農業部職員
研修会場	各JAで実施(講師が各JAへ訪問)もしくはWEB 研修





■ 長野県JAバンクでは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、 次の取り組みを行っています。



次世代農業者の育成支援

農商工連携の推進

被災者への支援

経営不振農家の経営改善支援



次世代農業者の育成支援

■ 長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、新規 就農者向けの様々な商品を取り扱っています。

【新規就農者向け資金の取扱実績】

今和2年帝宝徳	新	規実行	2日土砕古	
一	件数	実行額	3月末残高	
青年等就農資金	70件	401百万円	1,699百万円	
就農支援資金(※)	_	_	96百万円	
JA新規就農応援資金	20件	32百万円	95百万円	
その他資金	25件	45百万円	137百万円	
合計	115件	478百万円	2027百万円	

^(※)青年等就農資金の前身の資金であり、現在新規実行の取り扱いはありません。



農商工連携の推進

- 長野県JAバンクでは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、以前より下記の商談会などによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」としての機能を発揮しています。
- しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、いずれの商談会も中止となりました。 新型コロナウイルス感染症の終息後、再び機能を発揮できるよう準備し、取り組んで参ります。

【JA長野県グループいきいき信州!農畜産物個別商談会】

目的	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」 「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」
主催	長野県信連

【JA·JFグループ北信越商談会】

目的	北陸新幹線(長野経由)延伸によって直結した 北陸地方の市場開拓
主催	JAバンク・JFマリンバンク





被災者への支援①

■ 長野県JAバンクでは、被災者支援のため、災害対策窓口を設置や災害対策資金の創設等の対応を行いました。

災害等事象	JA	資金名	資金概要	令和3年度新規実行	
火古守尹豕	JA	貝亚石	貝亚佩女	件数	実行額
令和元年 台風19号	JA佐久浅間 JA信州うえだ JA上伊那 JAグリーン長野 JA中野市 JAながの	令和元年度台 風19号対策資 金	台風で農畜産物の被害を受けた農業者 に対し、行政等の利子補給を受けた低利 の資金を対応。	53件	170百万円
	長野県 JAバンク	アグリマイティー ローン (災害緊 急資金)	令和元年台風19号で農畜産物の被害を 受けた組合員に対し、JAバンク利子補給 により低利の資金を対応。	3件	5百万円
	長野県 JAバンク	アグリマイティー ローン (災害緊 急資金)	● 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた組合員に対し、JAバンク利子補給により低利の資金を対応。	48件	131百万円
新型コロナウィルス 感染症	JANOY	セーフティネット資 金	● セーフティネット資金にて対応	40件	427百万円
	JAグリーン長野	経営継続補助 事業つなぎ資金	● 経営継続補助金(共同利用)を利用する者へ、独自スキームを作成し資金対応を実施。	3件	21百万円



被災者への支援②

災害等事象	JA	資金名	資金概要	令和3年度新規実行		
火古守争家	JA	貝並石	貝並似安	件数	実行額	
	JAながの	山ノ内町がん ばる農業応援 資金	● 農業者が経営の近代化・安定化・ 経営の規模拡大・効率化及び災害 に伴う経営復興を図るとき、また、後 継者及び新規就農者が農業を営む 上で必要な資金を融資をする事を 目的とする。町とJAからの利子助 成により低利な金利なっている。	14件	31百万円	
その他	JAながの	菌茸季節対 応資金・きのこ 特別運転資 金	競合産地の増加等により、菌茸販売価格は低迷し、加えて季節的に販売価格差が顕著に現れており、経営に重大な影響が出ている。菌茸生産農家からは季節的に資金の枯渇するときの対応の要請があり、果樹生産農家の前渡金制度の代わりとなる資金対応を行い、菌茸生産農家の経営安定を図るもの。	9件	37百万円	



経営不振農家の経営改善支援

■ 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営 支援に取り組んでいます。

【経営不振農業者の経営改善支援等の取組実績】

		期初経営 改善支援 取組先 A (先数)	Aのうち再生計画を 策定した先数 a	A のうち期末に債務 者区分がランクアップ した先数 b	A のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先数 c	再生計画策定率 =a/A	ランクアップ。率 = b/A
	正常先①	103	1	_	81	1.0%	_
要注意先	うちその他要注意先 ②	44	2	3	16	4.5%	6.8%
意先	うち要管理先③	3	0	1	0	0.0%	33.3%
	破綻懸念先④	46	14	1	26	30.4%	2.2%
	実質破綻先⑤	23	2	0	15	8.7%	0.0%
	破綻先⑥	2	0	0	2	0.0%	0.0%
力	い計(②~⑥の計)	118	18	5	59	15.3%	4.2%
	合計	221	19	5	140	8.6%	2.6%



3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

■ 長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。



資本供与の取り組み(ファンドの活用)

動産担保融資の活用

負債整理資金による経営支援



3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取り組み(ファンドの活用)

■ 長野県JAバンクでは、農業振興や環境に貢献する取り組みを行う企業に 投資し、その成長を支援しています。

【アグリシードファンド活用実績】

出資件数	出資額
15件	124百万円





動産担保融資の活用

■ 長野県JAバンクでは、農畜産物や機械・設備などの動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。

【動産担保融資活用実績】

種類	件数	残高	内容
畜産物	2件	1百万円	牛
機械設備	3件	32百万円	農業施設内の梱包機械
合計	5件	33百万円	



3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

負債整理資金による経営支援

■ 長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理 資金を取り扱っています。

【令和2年度負債整理資金の貸出実績】

	令和2年度新規実行		3月末残高
典亚 石	件数	実行額	3月水戏同
農業経営負担軽減支援資金	0件	0百万円	49百万円
畜産特別資金	1件	10百万円	290百万円
その他	2件	138百万円	313百万円
合計	3件	148百万円	652百万円

【農業経営負担軽減支援資金】

営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

【畜産特別資金】

過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。



- 長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。
- ■また、令和2年度は、「令和元年台風19号」や「新型コロナウイルス感染症」 等の農業者の皆さまの経営に大きな影響を与える災害等が発生したことから、 その支援にかかる取り組みも行っています。





県下JAの取組

~『融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ』(JA信州諏訪)~

令和元年度台風19号被害に対する支援

新型コロナウイルス感染症に対する支援



懸賞品付定期貯金「Slow風土」



経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、長野県内の農畜産物などを景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローフード)を発売しました。
取扱期間	令和2年10月1日~12月30日
内容	 ●貯金の種類:スーパー定期貯金、大口定期貯金 ●預入期間:1年以上10年以下 ●20万円を一口として抽選を行い、当選者に懸賞品をプレゼント。『信州の食』や「(一社)日本ジビエ振興協会」と連携した『ジビエセット』など、合計22品目をご用意。さらに、当選されなかった方の中から抽選で250名様にトシ・ヨロイヅカ&ヴィラデストコラボスイーツ「リンツァートルテ」をプレゼント
成果	令和2年度は総額402億円のお申し込みがあり、多くのお客さまに大変ご好評をいただきました。 金融商品を通じて、県内農畜産物を旬の時期にお届けし、長野県の魅力を再確認していただくこと で、地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指しています。
今後の予 定	今後も地域活性化と農業所得増大に向け、JAバンク・JAを身近に感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として、引き続き実施していく予定です。



『融資で後押しがんばる農家応援事業II』(JA信州諏訪)



経緯	農家の規模拡大などで事業費が高額化している事から、融資による資金調達で設備投資等を行う 組合員に対して助成を行う事が事業の動機となる。
内容	融資による資金調達で設備投資等を行う組合員に対して、事業費の5分の1以内を2ヵ年に亘って助成する事業。 ※単年度の助成上限額 100万円。
成果	令和2年度 実績 融資件数: 9件 融資額 : 55,610千円
今後の予定	事業実施の開始は、平成28年度から平成30年度(3年間)に始まりましたが、引き続き2019~2021年も3年間延長する事ととなり事業を継続しています。



令和元年度台風19号被害に対する支援

経緯	令和元年10月12日から13日にかけて発生した令和元年台風19号の発生に伴い、長野県JAバンクでは被害を受けた農業者を支援すべく、県・市町村協調のもと「令和元年台風19号対策資金」を創設しました。 ※申込期限は令和2年12月31日までとなっており、現在は取扱を終了しています。
内容	 対象者:令和元年台風第19号の被害を受けた農業者 生産等の立て直しを図るための資金 借入限度額:被害認定額の範囲内及び500万円以内 償還期間:7年(据置1年以内) 金利:0%
成果	本資金の実行額累計は69件・227百万円となりました。 今後も災害等で被害を受けられた農業者の皆さまの復興の支援に取り組んで参ります。



新型コロナウイルス感染症に対する支援

経緯	長野県JAバンクでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者の皆さまにお借り入れいただける資金として、JAアグリマイティローン(災害緊急資金)を取り扱っております。
内容	 適用事象対象:新型コロナウイルス感染症 借入限度額:500万円以内 償還期間:5年(据置2年以内) 金利:JA所定の金利 ※年間最大1.0%のJAバンク利子補給あり。 ※利子補給後の末端金利は0.2%(実行後3年間) ※保証料については長野県信連で保証料全額助成を実施しております。
成果	令和2年3月に取り扱いを開始し、令和3年3月末時点で48件・131百万円の資金実行がありました。 今後も引き続き迅速かつ適切な支援に取り組んで参ります。





長野県JAバンクは、 今後も様々な取り組みを通じて 農業者と夢を共有し、 長野県農業を応援してまいります!





長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です



